

第42回入札制度等監視委員会議事録

1 委員会の概要

(1) 日時 平成25年4月24日(木) 午後2時00分から午後3時00分まで

(2) 場所 西庁舎 12階 講堂

(3) 出席者

ア 委員

伊藤宏(委員長) 安齋勇雄 影山道幸 齋藤玲子 新城希子 田崎由子

橘あすか 芳賀一英 藤田一巳

イ 県側

総務部長 総務部政策監 入札監理課長 入札監理課主幹兼副課長 入札監理課主幹

土木部次長 技術管理課長 建設産業室長 建設産業室主幹 入札用度課主幹兼副課長

教育庁財務課主幹兼副課長 警察本部会計課次席

(4) 次第

1 開会

2 辞令交付

3 あいさつ

4 事務局紹介

5 議事

(1) 委員長選出

(2) 報告事項

ア 県発注工事等の入札等結果について(平成25年1月~2月分)

イ 入札参加資格制限(指名停止)の運用状況について(平成25年2月~平成25年3月分)

ウ 平成24年度下請状況実地調査結果について

エ 公共工事設計労務単価の改正について

(3) 各委員の意見交換

(4) その他

6 閉会

2 発言内容

【入札監理課主幹兼副課長】

(開会)

定刻となりましたので、ただいまから、「第42回福島県入札制度等監視委員会」を開会いたします。

(辞令交付)

はじめに、本日は任期満了に伴う改選後、初めての委員会となりますので、辞令の交付を行います。お名前をお呼びいたしますので、委員の皆様にはその場で御起立くださいますようお願い申し上げます。順番は五十音順で進めさせていただきます。

(順次、別紙「委嘱委員名簿」により呼名)

なお、菅野晴隆委員につきましては、所用により欠席となっておりますが、委員就任の御承諾をいただいておりますので、ここで御報告させていただきます。

ここで、鈴木総務部長からごあいさつを申し上げます。

【総務部長】

第42回福島県入札制度等監視委員会の開催に当たり、ごあいさつを申し上げます。

本日お集まりいただきました皆様におかれましては、大変お忙しい中、当委員会の委員を快くお引き受けいただき、また、御出席をいただきましたことに厚く御礼申し上げます。

この度、新城 希子 委員におかれましては、新たに本委員会の委員をお引き受けいただき、誠にありがとうございました。

さて、県におきましては、東日本大震災からの復興工事が本格化するに当たり、平成25年度から、総合評価方式に復興型を新設し、入札手続の短縮・簡素化を図るとともに、復興JV制度を拡充することにより、入札不調対策の強化を図るなど、新たな福島県総合計画「ふくしま新生プラン」に掲げる「夢・希望・笑顔に満ちた“新生ふくしま”」の実現に向け、新生ふくしま復興推進本部の下、全庁一丸となって復興・再生の加速化に取り組んでいるところであります。

入札制度につきましては、透明性、競争性、公正性、更には品質の確保に十分留意した制度の構築に向けて、条件付一般競争入札を柱とする制度を導入し、その運用状況について分析を重ね、様々な御意見をお伺いしながら、改善を進めてまいりました。

この間、当委員会には、入札執行状況の分析や個別の入札案件の調査審議と、その結果を踏まえた制度の見直しに関する審議などをお願いしてまいりました。

今後とも、引き続き入札結果等に関する御審議をいただきながら、入札及び契約の適正化に努めてまいりたいと考えております。

委員の皆様におかれましては、それぞれの専門的なお立場、そして県民の視点から忌憚のない御意見・御助言を賜りますよう心からお願い申し上げます、あいさつといたします。

【入札監理課主幹兼副課長】

(事務局紹介)

続きまして、事務局職員を御紹介いたします。

総務部長 鈴木正晃でございます。

総務部政策監 井出孝利でございます。

入札監理課長 佐久間弘元でございます。

入札監理課主幹 吉野和晴でございます。

私、入札監理課主幹兼副課長の平山茂樹でございます。以上でありますので、よろしくお願い申し上げます。

(委員長選出)

次に委員長の選出についてであります。福島県入札制度等監視委員会規則第4条第1項の規定により、委員の皆様のご互選によることとなっておりますので、よろしくお願いいたします。

【芳賀委員】

前委員長の伊藤委員に引き続きお願いしてはいかがと思いますが、いかがでしょうか。

(各委員)

(異議なし)

【入札監理課主幹兼副課長】

皆様御異議がないようですので、伊藤委員をお願いすることとさせていただきます。伊藤委員長、委員長席へ御移動願います。

【伊藤委員長】

今期も引き続き委員長を務めさせていただくことになりました伊藤です。よろしくお願い申し上げます。至らぬ所があるかと思いますが、御協力のほどよろしくお願いします。

【入札監理課主幹兼副課長】

次に、議事に入ります前に、福島県入札制度等監視委員会規則第4条第3項の規定により、委員長に委員長職務代理者を指名していただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【伊藤委員長】

前期に引き続きまして、安齋委員をお願いしたいと思っております。

【入札監理課主幹兼副課長】

続きまして、福島県入札制度等監視委員会規則第8条第3項及び第4項の規定により、委員長にそれぞれの部会に所属する委員の方及び部会長を指名していただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【伊藤委員長】

基本的には前期に引き続きまして、「再苦情調査部会」におきましては、部会長 影山委員、「談合等調査部会」の部会長 安齋委員、「再苦情調査部会」の委員といたしまして、齋藤委員、田崎委員、芳賀委員、藤田委員、「談合等調査部会」の委員といたしまして、菅野委員、新城委員、橘委員、そして私、伊藤ということをお願いいたします。

それでは、これより議事に入ります。

まず、本日の議事の進め方について、協議したいと思っております。本日は、報告事項が4件ございますが、これらについては、公開で行うこととしてよろしいでしょうか。

(各委員)

(異議なし)

【伊藤委員長】

御異議ないものと認め、そのように決定いたします。

はじめに、次第(2)の報告事項「ア 県発注工事等の入札等結果について(平成25年1月～2月分)」について、事務局から説明をお願いします。

【入札監理課長】

(資料1により説明)

【伊藤委員長】

ただいま報告のありました件について、質問等がございましたらお願いいたします。よろしいですか。無いようでしたら次に進みます。

それでは、続きまして、報告事項「イ 入札参加資格制限(指名停止)の運用状況について(平成25年2月～3月分)」ですが、事務局から説明をお願いします。

【入札監理課長、入札用度課主幹兼副課長】

(資料2により説明)

【伊藤委員長】

ただいま報告のありました件について、質問等がございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。無いようでしたら次に進みます。

報告事項「ウ 平成24年度下請状況実地調査について」、事務局から説明をお願いします。

【入札監理課長】

(資料3により説明)

【伊藤委員長】

ただいま報告のありました件について、質問等がございましたらお願いいたします。

【芳賀委員】

調査の選定方法の中に、元請け6社、下請け12社を選定してということになってますが、建築・土木の割合はどのようになっていますか。

【入札監理課長】

基本的に今回の元請け6社の工種については、ほとんどが土木工事でございます。塗装工事が1件ございますが、それ以外は土木工事でございます。

【伊藤委員長】

他いかがでしょうか。無いようでしたら次に進みます。

報告事項「エ 公共工事設計労務単価の改正について」ですが、事務局から説明をお願いします。

【技術管理課長】

(資料4により説明)

【伊藤委員長】

ただいま報告のありました件について、質問等がございましたらお願いいたします。

この事が不調の減少に少しでも繋がればと思いますが、少し別の観点で、こういう場合、県の予算が何らかの影響を受ける、変更修正されるということにはなるのでしょうか。

【技術管理課長】

工事には、現年度のものについてはこれから発注しますので対応はできるかと思いますが、前年度契約して繰り越したものについては金額が決められているので、今まで工事数量として10できるものが9に変更する等の対応を必要とするものが出てくると思います。

【伊藤委員長】

つまり、全体の予算額が同じだから、工事が少し減ってしまうことがあり得るということですね。

他いかがでしょうか。無いようでしたら次に進みます。

(3)の各委員の意見交換に移りたいと思います。どなたか御意見や発言される方は、いらっしゃいますでしょうか。

無いようでしたら、私から。私自身もよく分からなくて今後どうなるのか、というお話のレベルということをお願いしたいのですが、TPPの交渉参加ということで、入札制度に少なからず影響があるのではないかとということも予測できます。例えば、指名競争入札という制度そのものが、TPPの考え方からいくとどうなのか。あるいは、条件付きという時の条件を今までどおりきちんと付けられるかどうかということや、今後の交渉次第でどういうことになるのか分からないのですが、短期的にということではなくて、もう少し長いスパンで検討すれば良いことなのかとは思っています。例えば、指名競争入札は、現在県は行なっていませんが、そもそも指名競争入札という制度そのものがTPPの考え方からすると、ひょっとしたらとれないかもしれないこともあり得るのか、ということも予想できますので、事務局でも交渉の推移を見守っていただければと思っています。

他いかがでしょうか。無いようでしたら次に進みます。

それでは、最後のその他についてですけれども、委員の皆様から、何かございますか。委員の皆様からなければ、事務局から何かございますか。

【入札監理課主幹兼副課長】

次回、第43回委員会の抽出案件の審議対象期間及び抽出テーマの決定並びに抽出チームの指名をお願いします。

【伊藤委員長】

今回の抽出案件ですが、抽出委員はこれまでのルールでいくと名簿の五十音順ということになっており、お2人ずつですので、橘委員、芳賀委員となっております。抽出テーマですが、何か御意見はございますでしょうか。なければ、事務局からお願いします。

【入札監理課主幹兼副課長】

審議対象期間は平成24年4月から平成25年3月までの1年間、テーマは「大規模な災害復旧工事のうち、公募型随意契約で発注した案件」ではいかがでしょうか。

【伊藤委員長】

ただいま事務局から提案ありました、審議対象期間は平成24年4月から平成25年3月までの1年間、テーマは「大規模な災害復旧工事のうち公募型随意契約で発注した案件」、抽出チームは橘委員、芳賀委員ということでいかがでしょうか。

(各委員)

(異議なし)

他に事務局からございますでしょうか。

【入札監理課主幹兼副課長】

次回委員会の日程調整のため、お手元に6月分、7月分の日程調整表をお配りしております。お手数でも、5月2日、木曜日までに事務局へ御提出いただきますようお願いいたします。

【伊藤委員長】

大体予定としては、6月下旬から7月上旬くらいですか。委員の皆さん、予定を御確認いただき、よろしく願いいたします。

他いかがでしょうか。それでは、本日の議事につきましては、これで終了いたします。

【入札監理課主幹兼副課長】

(閉会)

以上をもちまして、「第42回福島県入札制度等監視委員会」を閉会させていただきます。ありがとうございました。